

# 令和2(2020)年度函館市公共下水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

令和2年度の処理区域内人口は226,899人となり、前年度に比べ2,784人減少したが、下水道普及率(行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合)は90.8%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

また、水洗化区域内戸数は135,637戸、水洗化済戸数は130,492戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は96.2%となった。

事業収益については、使用水量の減少により下水道使用料が減少したものの、他会計負担金の増加等により、前年度に比べ261,046円の収入増(0.0%増)となり、総額で7,543,792,924円となった。

事業費用については、企業債利息の減少等により、前年度に比べ76,675,438円の支出減(1.2%減)となり、総額で6,502,509,190円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ76,936,484円増加し、1,041,283,734円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、大手ポンプ場電気計装設備工事、南部下水終末処理場汚水処理施設ブロワ機械設備工事等を予定どおり施行した。

また、函館湾流域下水道事業費負担金で、59,412,500円が建設改良費の繰越額となっている。